

創立
150
周年

平戸市立紐差小学校 学校だより No.3



くすの木



令和6年4月26日 文責 校長 市瀬 くみ子

【本校の教育目標】

**高き理想を胸に秘め たゆまず倦まず励みなん
～夢をもち、未来に向かってたくましく生きる子どもを育てる～**

【本年度の合言葉】

つなぐ・つながる・心ひとつに～すべては子どものために～

祝 紐差小学校創立150周年記念行事の開催

4月24日(水)に、ご来賓、保護者の皆様のご臨席のもと、「紐差小学校創立150周年記念行事」を開催しました。千北 前PTA会長様をはじめ、実行委員の皆様には、記念行事の開催に向けてご尽力いただき、心から感謝申し上げます。記念行事では、子どもたちに以下の話をしました。

児童の皆さん、紐差小学校のはじまりを知っていますか。紐差小学校は、明治7年9月18日にスタートしました。たくさんの方が校長室に飾られています。その中に紐差小学校の初代校長先生である「片山善三郎先生」の写真も飾られています。校門を入ってすぐのところには、「片山先生開校記念碑」と書かれた大きな石碑も建っていますね。校長室の金庫の中にある古い本には、紐差小学校ができた時、一つの教室と一つの職員室しかなかったこと、男子50名が通っていたこと、片山善三郎先生が一人で勉強を教えていたことなどが書かれていました。それから150年、明治、大正、昭和、平成、令和と時代は流れ、紐差小学校の建物、子どもの数、先生の数、学習内容など大きく変わりましたが、この紐差小学校で子どもたちが学ぶことができているということは、150年たった今でも変わっていません。それは、紐差小学校の先輩方や先生方、紐差小学校を支えてくださった保護者や地域の方々が、紐差小学校の歴史と伝統を大切に大切にこられたからです。これからは、みなさんが紐差小学校の歴史と伝統を次へとつないでいくことになります。創立150周年という節目を迎えた今年度は、特に、紐差小学校のこと、ふるさとのことをいろいろな授業の中で調べ、しっかりと学んでほしいと思います。そして、紐差小学校の先輩方のように、母校である紐差小学校を誇りに、そして大切に思い、大人になっても紐差小学校のことを紐差小学校の子どもたちのことを近くからでも遠くからでも応援し、支えてあげられる、そんな素敵な人を目指してほしいと思います。

そのためにも、始業式にも話をしましたが、まずは校歌の3番にある「高き理想を胸に秘め たゆまず倦まず励みなん」の精神を大切にしてほしいと思います。夢や目標をもち、頑張りたいことをしっかりと決めて、途中で投げ出さずに努力を続けること。「できるようになるまであきらめずに続けること」が大切です。さらに、学校のため、ふるさとのために、皆さん一人一人ができることを考えて実践することも大切です。周りの友達にも目を向けながら、頑張っている友達を応援したり、困っている友達の力になったりして、よりよい学校、よりよいふるさとを目指してこれからも頑張っていきましょう。頑張り続ける皆さんのことを心から応援します。

今、本校の子どもたちが日々の教育活動に安心して笑顔で取り組むことができるのは、本校教育に関わってくださる多くの方が子どもたちのことを温かく見守り、支えてくださっているからこそです。今後も、「夢をもち、未来に向かってたくましく生きる子どもを育てる」を学校教育目標に掲げ、職員一同、心をつなげて教育活動を充実させていきます。保護者、地域の皆様の本校教育への変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



※ 最後に、全員で運動場に出て、ドローンによる記念撮影を行いました。撮影をしてくださった獅子保育園の尾崎園長先生、本当にありがとうございました。

全校合唱「ぼくらのひもさし」

【6年生のことば】

紐差小学校のいいところは、元気で明るいところです！

そんな紐差小学校が大好きです！

「高き理想を胸にひめ、たゆまず、うまず、はげみなん」の精神を受け継いで、紐差小学校を楽しく、笑顔あふれる学校にしていきます！

その土台をわたしたちがつくっていきます！

おめでとう150周年！

*紐差小学校 HP (学校だより) →<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/kurashi/school/himosashi/>